

三菱食品株式会社 2017年度(2018年3月期) 決算説明会

2018年5月10日



目次

1

2017年度(2018年3月期)決算概要

2

2018年度(2019年3月期)業績予想

3

経営方針2020の実行状況

1. 2017年度(2018年3月期) 決算概要

2017年度(2018年3月期)連結業績(期初予想比)

(単位:億円)

	2017年度		
	期初予想	実 績	期初予想比
売上高	25,000	25,134	134
営業利益	182	167	▲15
経常利益	192	180	▲12
親会社株主に帰属する 当期純利益	125	108	▲17
1株当たり 当期純利益(円)	218.77	189.01	▲29.76
1株当たり配当金(円)	50.00	50.00	—

- ◆ 売上高は、概ね期初予想通り
- ◆ 営業利益、経常利益は、物流コストの上昇等により、期初予想を下回る
- ◆ 親会社株主に帰属する当期純利益は、特別損失の計上等により、期初予想を下回る

2017年度(2018年3月期)連結業績(前期比)

(単位:億円)

	2016年度	2017年度	
	実 績	実 績	前期比
売上高	24,115	25,134	1,020
営業利益	178	167	▲11
経常利益	189	180	▲9
親会社株主に帰属する 当期純利益	124	108	▲16
1株当たり 当期純利益(円)	216.86	189.01	▲27.85
1株当たり配当金(円)	50.00	50.00	—

- ◆ 売上高は、CVS等を中心に取引が総じて堅調に推移し、増収
- ◆ 利益面は、物流コストの上昇等により、減益
- ◆ 配当は、基本方針である安定配当を継続

2017年度(2018年3月期) 品種別売上高(前期比)

(単位:億円)

	2016年度		2017年度		前期比増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	率(%)
缶詰・調味料類	2,725	11.3	2,778	11.1	53	1.9
麺・乾物類	1,539	6.4	1,581	6.3	42	2.8
嗜好品・飲料類	2,710	11.2	2,766	11.0	56	2.1
菓子類	2,910	12.1	2,995	11.9	85	2.9
冷凍食品類	4,825	20.0	5,090	20.2	265	5.5
チルド食品類	4,141	17.2	4,301	17.1	160	3.9
ビール類	2,102	8.7	2,264	9.0	162	7.7
その他酒類	1,897	7.9	2,003	8.0	106	5.6
その他	1,264	5.2	1,355	5.4	91	7.2
合計	24,115	100.0	25,134	100.0	1,020	4.2

- ◆「冷凍食品類」は、中食需要の増加等により市販用・業務用ともに好調
- ◆「チルド食品類」は、野菜飲料、チーズの伸長等により増加
- ◆「ビール類」「その他酒類」は、卸売、CVS等との取引拡大等により増加

2017年度(2018年3月期) 業態別売上高(前期比)

(単位:億円)

	2016年度		2017年度		前期比増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	率(%)
卸売	1,975	8.2	2,169	8.6	194	9.8
GMS	1,993	8.3	2,010	8.0	17	0.8
SM	8,913	36.9	8,872	35.3	▲42	▲0.5
CVS	7,593	31.5	8,124	32.3	531	7.0
ドラッグストア	1,017	4.2	1,103	4.4	86	8.5
ユーザー	599	2.5	633	2.5	34	5.7
その他直販	1,714	7.1	1,795	7.2	81	4.7
メーカー・他	309	1.3	429	1.7	119	38.6
合計	24,115	100.0	25,134	100.0	1,020	4.2

◆「卸売」は、酒類分野での取引拡大等により増加

◆「CVS」は、取引の拡大、上期の好天による飲料類・アイスの伸長等で増加

◆「メーカー・他」は、新規連結子会社の影響により増加

2017年度(2018年3月期) セグメント別業績(前期比)

(単位:億円)

	売 上 高				営 業 利 益		
	2016年度	2017年度	増減額	増減率(%)	2016年度	2017年度	増減額
加工食品	7,470	7,703	233	3.1	45	33	▲12
低温食品	9,601	10,026	424	4.4	102	91	▲11
酒類	4,126	4,413	287	7.0	5	15	10
菓子	2,898	2,973	75	2.6	35	38	2
その他・調整	19	19	1	3.3	▲9	▲9	▲0
合 計	24,115	25,134	1,020	4.2	178	167	▲11

※2017年度の組織のセグメント見直し及び決算調整項目の見直しに伴い、2016年度実績を組替えております。

- ◆加工食品：CVS、ドラッグストア等との取引伸長により増収も、物流費等の販管費増加により減益
- ◆低温食品：CVS等との取引伸長により増収も、物流費等の販管費増加により減益
- ◆酒 類：卸売、CVS等との取引伸長等により増収増益
- ◆菓 子：CVS等との取引伸長等により増収増益

2017年度(2018年3月期) 特別損益明細(前期比)

(単位:億円)

	2016年度	2017年度	
	実績	実績	前期比
投資有価証券売却益	11	4	▲7
固定資産売却益	0	3	3
【 特別利益 】 計	12	8	▲4
投資有価証券評価損	1	0	▲1
減損損失	4	24	20
災害関連費用	1	0	▲1
貸倒損失	11	0	▲11
【 特別損失 】 計	18	26	9
特 別 損 益	▲6	▲19	▲13

◆特別利益は、前期に計上した投資有価証券売却益の反動減により減少

◆特別損失は、システムに係る減損損失等により増加

2017年度(2018年3月期) B／S(前期比)

(単位:億円)

	2016年度	2017年度	
	3月末	3月末	前期比
流動資産	4,990	5,605	615
固定資産	1,215	1,329	113
総資産	6,205	6,933	728
流動負債	4,430	5,042	612
固定負債	198	215	16
負債合計	4,628	5,256	628
純資産	1,577	1,677	100
1株当たり純資産(円)	2,759.33	2,933.66	174.33
自己資本比率	25.4%	24.2%	▲1.2

2. 2018年度(2019年3月期) 業績予想

2018年度(2019年3月期) 業績予想

(単位:億円)

	2017年度		2018年度		前期比	
	実 績	売上比 (%)	業績予想	売上比 (%)	額	率(%)
売上高	25,134	－	25,500	－	366	1.5
営業利益	167	0.7	174	0.7	7	4.2
経常利益	180	0.7	185	0.7	5	2.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	108	0.4	115	0.5	7	6.5
1株当たり当期純利益(円)	189.01	－	201.27	－	12.26	－
1株当たり配当金(円)	50.00	－	50.00	－	－	－

2018年度(2019年3月期) セグメント別業績予想

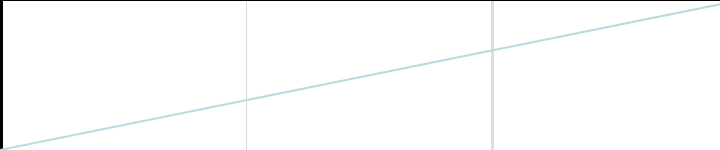
(単位:億円)

	売上高				営業利益			
	2017年度	2018年度	増減額	増減率 (%)	2017年度	2018年度	増減額	増減率 (%)
加工食品	7,705	7,820	115	1.5	31	36	5	15.0
低温食品	10,026	10,180	154	1.5	92	95	3	3.2
酒類	4,413	4,480	67	1.5	15	16	1	10.0
菓子	2,972	3,000	28	0.9	38	39	1	2.3
その他・調整	18	20	2	10.6	▲9	▲12	▲3	－
合 計	25,134	25,500	366	1.5	167	174	7	4.2

※2018年度の採算管理方法の見直し及び一部組織変更に伴い、2017年度実績を組替えております。

設備投資等の状況

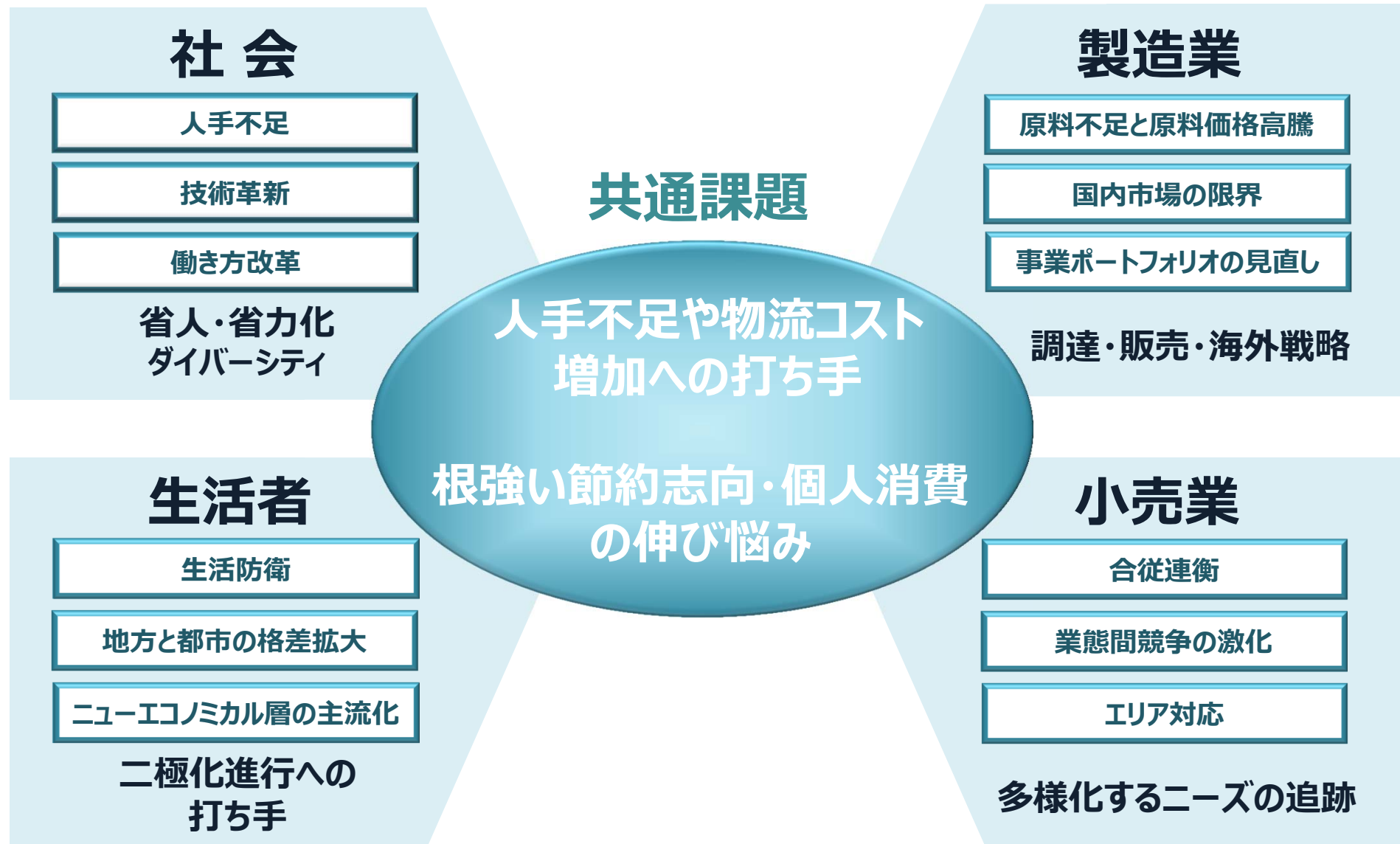
(単位:億円)

	投資額			償却額・支払リース料		
	2016年度	2017年度	2018年度 予想	2016年度	2017年度	2018年度 予想
設備投資(リース含む)	54	124	140	50	54	60
システム開発等	52	30	40	17	20	20
事業投資	—	17	20			
合 計	106	171	200	67	74	80

- ◆ 設備投資は、物流センターの新設、既存物流センターの庫内設備工事等が中心
- ◆ システム開発等は、基幹システム「MILAI」構築や物流センター運用システムの開発等
- ◆ 事業投資は、事業会社株式取得

3.「経営方針2020」の実行状況

わが社を取り巻く環境の再認識



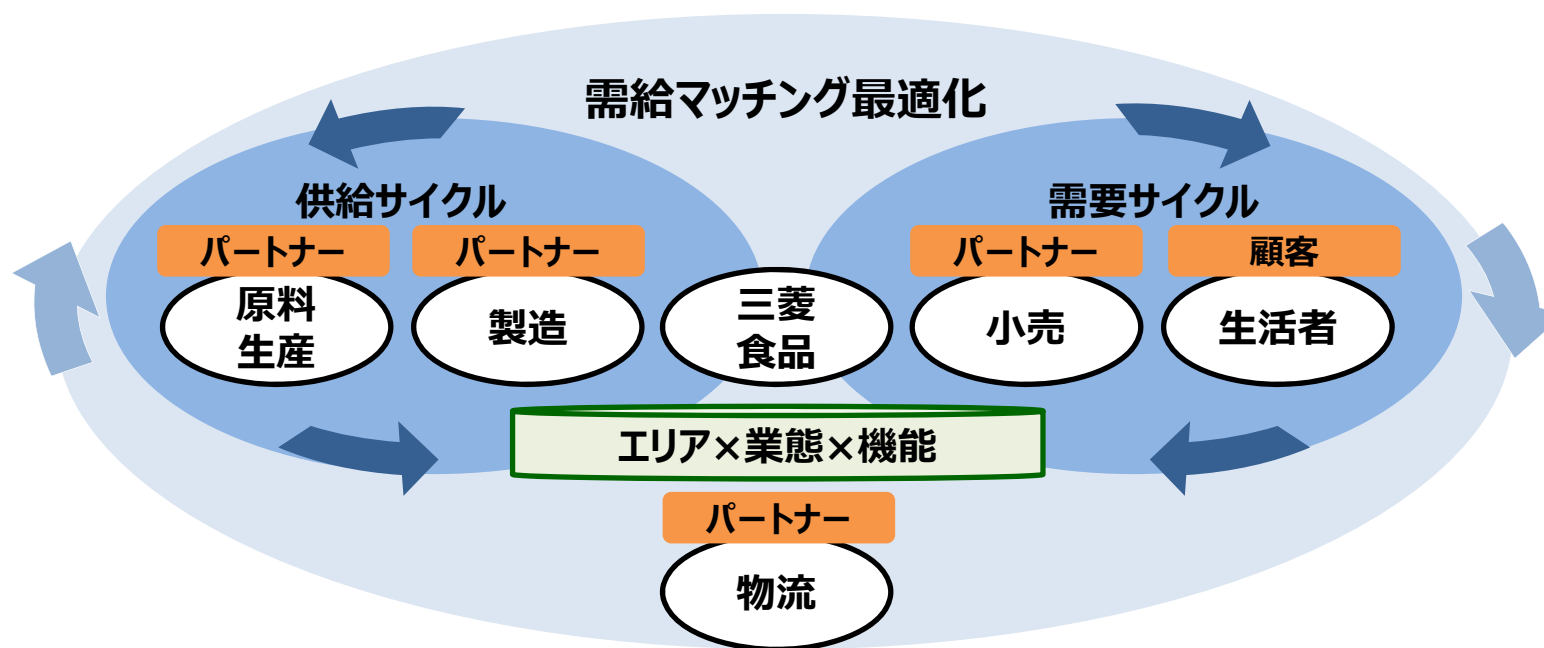
「経営方針2020」で目指す姿

企業ミッション

「中間」から「中核」へ。 食と暮らしの明日を創造する。

経営方針2020で
目指す姿

“より良い” を積み重ねて、日本の食を支える



3つのアプローチ

①総合食品商社
として

②三菱商事グループ
として

③「中核」を目指す
企業として

定量目標

経常利益率 1%の早期実現

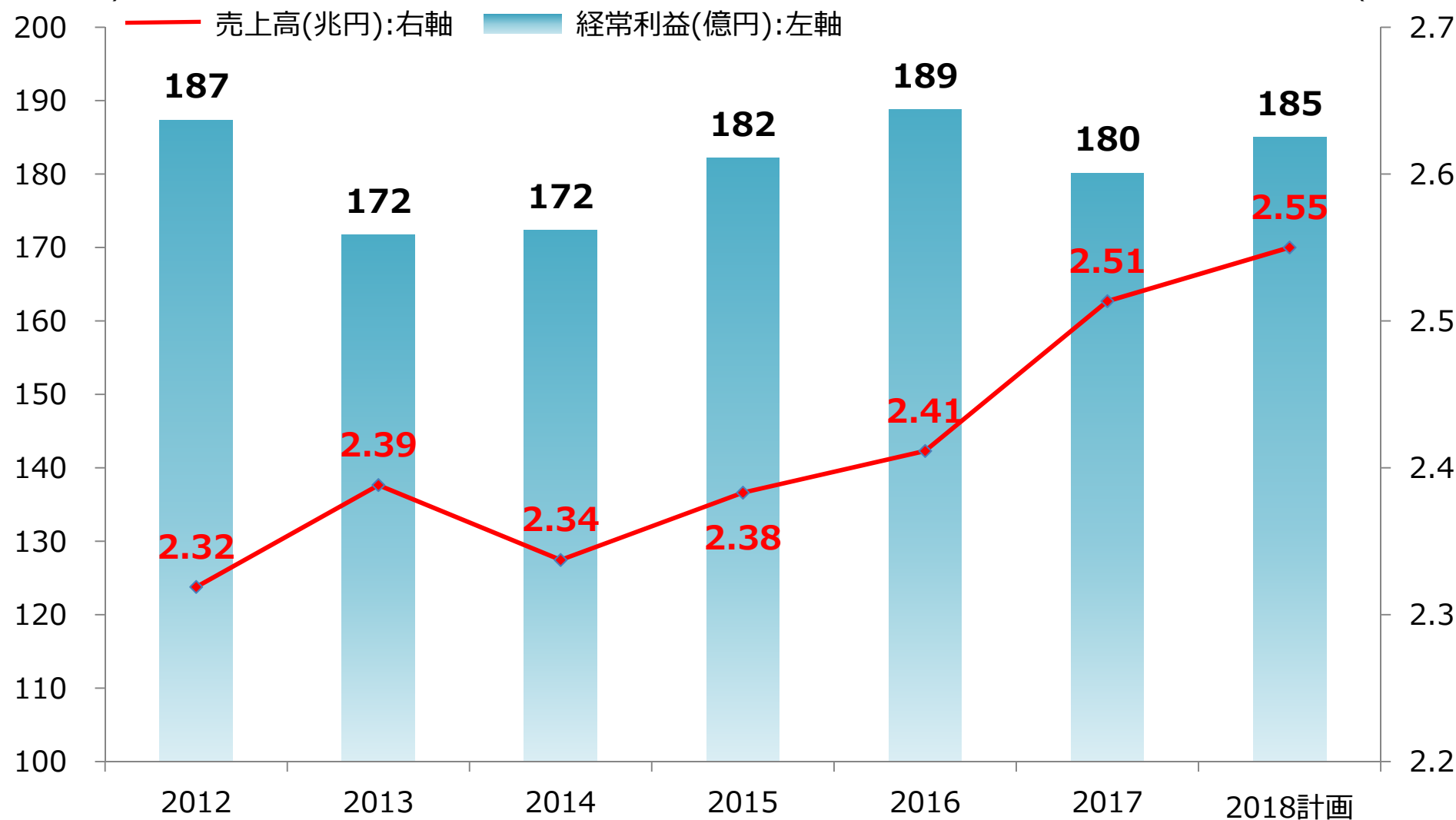
「経営方針2020」の実行状況(定量面)

中期経営計画2015

経営方針2020

(単位：億円)

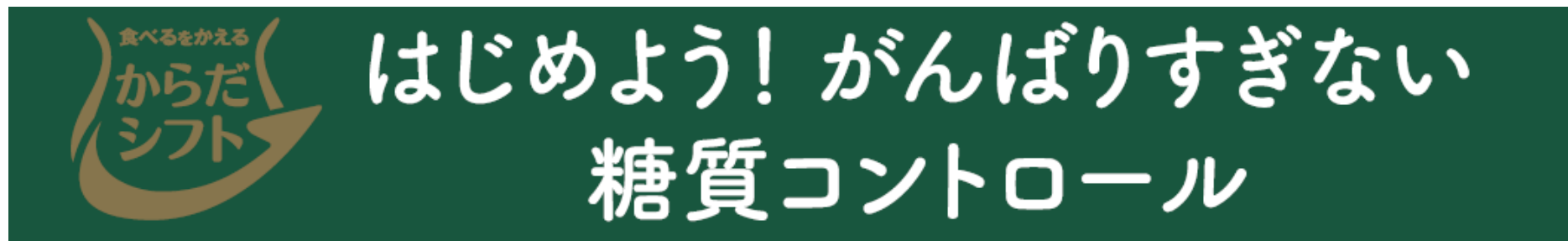
(単位：兆円)



「経営方針2020」の実行状況(2017年度施策)

2017年度「総合食品商社として事業領域拡大に向けた取組」		
取組方針	実施施策	期初目標
成長分野への 対応	➤ 3本部の新設 ✓ 中食・外食業態伸長に対応 「デリカ本部」「フードサービス本部」 ✓ 生協業態伸長に対応 「ライフネット本部」	 伸長業態の 取引拡大
機能の拡張	➤ 次世代を見据えた デジタル活用 ✓ 「ウェアラブル端末」などの先進機器の導入 ✓ AIソムリエ「SENSY」の深耕	 更なる 導入拡大
領域の拡大	➤ 商品開発・ディストリビューター 事業の展開 ✓ 「輸入商品」、「国内オリジナル商品」の拡売	 新たな 収益基盤へ

「経営方針2020」の実行状況(2017年度施策)



第1弾 2017年9月 (14SKU)

※1SKU終売



第2弾 2018年2月 (13SKU)



2018年度取り組み方針

経営方針2020で
目指す姿

“より良い”を積み重ねて、日本の食を支える

総合食品商社として

2016-17

2018

機能強化

事業領域の拡大

「挑戦」を支える
体制づくり

卸事業における
営業体制の一本化

商品開発・トレーディング
事業の強化

機能に特化した
子会社戦略

成果獲得への
追求

「前進」を支える
環境づくり

物流コスト増加への
打ち手

AI・IoTによる
生産性改革

2018年度取り組み方針 -①「挑戦」を支える体制づくり



MS北海道 ▶ 北海道支社
MS新潟 ▶ 新潟支店
MS北陸 ▶ 北陸支店
東北支社
MS福島
▶ 南東北支店
中四国支社
中部支社
本社
関西支社
MS関東
九州支社
MS四国
▶ 四国支店
営業第二本部
戦略市場本部

**卸事業における
営業体制の一本化**
子会社 6 社の統合



**商品開発・
トレーディング事業の強化**
ブランド戦略本部・
トレーディング本部の新設



**機能に特化した
子会社戦略**
エムシーフーズの子会社化に続く
業務用販社クロコの新設

卸事業の再強化



事業領域の拡大と深耕

2018年度取り組み方針 -②「前進」を支える環境づくり



物流コスト増加への打ち手

物流拠点再編・
製・配・販の連携強化



AI・IoT活用による生産性改革

RPA(※)による業務自動化・
発注AIの実証実験

※RPA : Robotic Process Automation

物流コスト削減の継続と
業界全体での取り組み



効率追求と付加価値最大化

「経営方針2020」実現に向けて

経営方針2020
実現に向けた
3つのアプローチ

総合食品
商社として

三菱商事
グループとして

中核を目指す
企業として

2012 – 2015

2016 – 2020

中期経営計画2015

経営方針2020

バリューチェーン・
コーディネーター

“より良い” を積み重ねて日本の食を支える

